

# かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

## 「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します！

(※前号からの続き～2.(認知症・脳血管障害[脳卒中]・骨折・転倒の)原因別の対処方法と予防策～)

・居住環境の点検:内的要因と外的要因の改善を図ることが重要です。(原田敦、松井康素『高齢者の転倒と骨折2002 整形・災害外科 vol.45』より参照編集)

<外的要因>としては、

①1～2cmほどの室内段差(敷居) ②滑りやすい床(浴室など) ③スリッパやサンダル等の履物 ④つまずきやすい敷物(カーペットの端やほころび) ⑤生活動線上の障害物、とくに電気器具のコード類 ⑥照明不良(うす暗い環境:夜間の玄関やトイレ移動) ⑦戸口の踏み段 ⑧不慣れな環境(転居やショートステイなど) ⑨不慣れな場所での障害物…などが列挙されます。居住環境を整備して転倒を予防し、要支援や要介護状態となる原因を排除することが重要です。

<内的要因>としては、

①筋力の低下・姿勢反射の低下などの加齢変化(フレイルティ:虚弱) ②不整脈や起立性低血圧・筋神経疾患などの疾病 ③睡眠薬や抗うつ剤・抗ヒスタミン薬などによる眠気や注意力の低下などが挙げられます。④また、骨粗しょう症による易骨折性に対して確実に治療や運動により、骨を丈夫にすることも重要となります。

[～連載おわり～]

(医療法人財団ファミリー理事長 駒形清則)



### ～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆ホルムズ海峡の封鎖に伴う原油問題により、医療材料が枯渇するとのニュースが話題になっています。そこで話題の「ナフサ」を調べてみました。「石油連盟」のホームページによると、「ナフサ」とは原油からできるガソリンに似た透明な液体で、プラスチックや合成繊維、合成ゴム、合成洗剤、塗料の原料などの「原料」だそうです。そのため、ナフサ由来の樹脂からできているカテーテルや点滴バッグ、人工透析に使うダイアライザー(人工腎臓)、針やシリンジ(注射器具)、使い捨ての手袋やマスク、防護服などが足りなくなるかもしれないということなのです。現在はまだ目立った危機感はありませんが、封鎖が長引くと、じわじわと危機感が増してくるのではないかと思います。一難去ってまた一難です。(K)

### 医療法人財団ファミリー

## かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2階

① ☆外来:心療内科=永井斐子院長

内科=駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科=駒形清則医師、駒形明紀医師 精神科=米谷充医師

神経内科=西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧くださいか、お電話にてお問い合わせ下さい。

**電話 03-3627-0233**